

# Men's file

## グッとくる男たちの系譜

構成/富永恭子



軽妙なトークで人気のパーソナリティ、ナレーター。好評放送中の新番組「おもいっきりDON!」(月～金、日本テレビ系)にレギュラー出演中のほか、テレビのナレーションやラジオ、雑誌の連載でも活躍中。

文 坂上みさき

Close Up!

かんさんじゅん  
**姜尚中**さん  
東京大学大学院  
情報学環教授



写真提供/共同通信社

50年熊本生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。'04年より現職。専門は政治学、政治思想学。テレビの報道番組にもたびたび出演し、在日コリアン2世の立場から、アジアの平和と共存についてつねに冷静に語る姿が印象的。ドライブや登山など多趣味でアクティブな一面も。



姜先生の著書のなかでも、ベストセラーといえどもこれ。悩むことで生きる強さをつかみ取ることを提唱する。「悩む力」集英社 ¥714

## 教授界のGacktも!? 知的セクシーな大学教授たち

知性に裏打ちされた物腰に、滅法、弱い。一本の道を突き進んできた男の。東京大学の、姜尚中教授。京都大学の、山極寿一教授。大阪大学の、川崎和男教授。今最も授業を受けてみたい先生たちだ。姜先生は、テレビでもおなじみだから言わずもがだが、優雅なる厳格さに心奪われる。あの語り口調である。けっこうアグレッシブなおしゃべり。この感じ、フランス語のようにとろけるこの感じ。よくよく耳を凝らさないと、聞きとれない、これって……。あ、Gacktだ。著書「悩む力」を粛々と読んでいたら、最後の「夢」のはっちゃけぶり! その結びようが微笑ましい。

霊長類学者の山極先生は、30年間ゴリラ研究に身を捧げてこられた。動物と向き合う人に、邪な心などあるはずもなく、まっすぐな、ブレない男の魅力を感じる。知的包容力とでもいおうか、姜先生とはまた違ったやわらかな語りの進化論に、いつまでも身をおいていたいと思う。ゴリラ語(先生はゴリラ語が話せる)で挨拶されたらどう応えよう。想像するに、楽しい。川崎先生は、舌鋒鋭い。生半可な気持ちで近づくと、火傷する。「自分のデザインは命がけで守る」そのために「売られたケンカはきっちり受ける」と言っただけでいい。喧嘩師である。ベイリン元米副大統領候補のメガネで、その名を広く知らしめた。それがたデザインに背筋が伸びる。こうして書きながら何が逆鱗に触れるかと、及び腰だ。でも、叱られてみたい気もする。共通していることは、それぞれのやるべきことに全力を傾注して、鋼の芯をもち、世の中を、時代を、地球をよくしていこうという、心意気だ。そして、弱音を吐く場所を、きつと、どこかにもっていらつしやるに違いないと匂わせるところが、実に色っぽい。

授業を受けてみたい! 気になる先生たち!



川崎和男さん

大阪大学大学院  
工学研究科教授

40年福井生まれ。デザインディレクター、医学博士。伝統工芸品から、ロボット、人工臓器など幅広い分野のデザイン、研究を手がける。昨年、ベイリン元米副大統領候補のトレードマークであるメガネが川崎氏デザインのものと判明。世界的に注目を集めた。@KAWO



写真提供/共同通信社

山極寿一さん

京都大学大学院  
理学研究科教授

52年東京生まれ。日本における霊長類研究の第一人者。長年にわたって自ら中央アフリカの熱帯雨林に分け入り、野生のゴリラやチンパンジーの調査と保護に力を注ぐ。「ゴリラ先生」の異名をとる。愛すべき人物。